

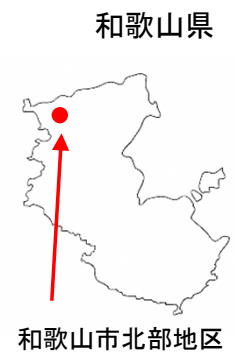
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻を中心に水田裏作の野菜栽培が盛んな地域
- 高齢化や後継者不足等による耕作放棄地が多く、担い手への農地集積化を図る必要がある地区

【支援内容・背景】

- 経営規模拡大を志向する担い手への農地集積化に向けて、作業効率の向上やコスト低減等の経営改善の取組を支援する必要。
- 助成対象者は地区内の野菜生産者であり、ほ場が広範囲に点在する中、経営面積の拡大を計画。作業の効率化とともに、品質・収量の向上に向け、生産の合理化を図る必要がある。このため、農業クラウドシステムによる生産管理を活用した経営力強化の取組モデルとして育成・支援。



助成対象者「T氏」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成17年
青年等就農計画の認定
- 平成18年
就農
- 平成21年
農業経営改善計画の認定

【事業活用の背景】

○ 経営面積の拡大を図るために、ほ場の場所や作業記録を共有し、効率的に作業を行う必要がある。作業効率の向上に向け、ほ場管理や作業記録のサポートに資する農業クラウドシステムを搭載した機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈H30年度〉

○売上高 26百万円

○経営面積 725a
(ショウガ、キャベツ等)

【事業による整備内容】

○トラクター(農業クラウド対応) 1台
事業費 4,000 千円 (国費 1,111 千円)

【現在の経営状況】
〈R3年度〉

○売上高 36百万円 (138%)

○経営面積 1,030a (142%)
(ショウガ、キャベツ等)

事業の
効果

《対象者》 ほ場管理や作業記録のサポートのできる機械導入で、過去の栽培管理データに基づく綿密な栽培計画を立てることが可能となり、作業効率向上、コスト低減が図られ、経営面積、売上高の増加が実現。

《地 区》 担い手への農地集積が図られることにより、新たな技術を活用した規模拡大の経営モデルが確立。